

# 「障がいってなあに？」 ～“知ること”“感じること”から始めよう～

## やさしいまち「とよひら」福祉フォーラム2015 が開催されました。

平成27年10月25日(日)、豊平区民センターで「とよひら福祉フォーラム2015」が開催されました。このフォーラムは、札幌市自立支援協議会豊平区地域部会の主催により「障がいのある方が地域で安心して暮らせる地域づくり」を目指し、障がい理解の促進・普及啓発を目的として毎年開催しているものです。あいにくの悪天候となりましたが、約200名の方に参加いただきました。

今年は、ステージ上でのプログラムに加えて、より多くの市民の方に興味・関心を持っていただき、気軽に参加してもらえるようにと障がい者支援事業所で製作している授産製品の販売やカフェコーナーを設置しました。また「障がい者が地域で暮らす」ことを身近に感じていただくため、視覚障がい・車いす利用者の疑似体験コーナーも会場内に設けました。

ステージプログラムでは、小学生を中心にしたマーチングバンド「ドリームアップルズ」のオープニング演奏を皮切りに、前半は障がい当事者によるトークショー、後半には統合失調症の経験があるお笑いコンビ「松本ハウス」さんをお招きしての講演会等が行われました。

やさしいまち「とよひら」福祉フォーラム2015  
「障がいってなあに？」～“知ること”“感じること”から始めよう～



### 障がい当事者トークショーでの発言から

●障がい者が地域に出て生活することは、まだいろいろな問題があって、出たくても出られない人が多いそうです。しかし、私はもっと多くの障がいのある人が、地域に出てあたりまえの生活ができるような社会になってほしいし、なるように働きかけていきたいです。ご協力よろしくお願ひします。

●障がいを持っていない人々には、障がいとはなにかということを訴えたいです。人には誰でも得手不得手というものがあります。その不得手の顕著な例が障がい者ということで、特別なものではないという意識を持ってもらえたらと思います。

●こちらが話をしても理解をしてくれないで話がどんどん進められると不安が強くなります。不安を解消するためには「話をよく聞いてくれる人」「細かく話を聞いてくれる人」「理解力のある人」など支援者が必要です。もっと支援してくれる人がたくさんいたらいいと思います。

### 自立支援協議会ってなあに？

障がいのある方が安心して暮らせる地域づくりを目的に、障がい当事者、支援者、行政機関等を含めた様々な関係機関による協議体。障害者総合支援法により設置が求められている。

市内の協議会は、区単位の地域部会、課題に応じた専門的な部会、それらを統括する全体会で構成。各区地域部会では、区の実状に応じて、講演会・勉強会等の多様な活動を行っている。

## ほっと、一息、 くつろぎの場を目指して ～「カフェ」から広がる地域のつながり～



### カフェ・バー「パーリッシュ」

地下鉄東豊線「学園前駅」を下車し、出口から徒歩3～5分程度、北海学園大学周辺に一戸建ての民家があります。

その1階の扉を開けると、そこには、やわらかな木の香りがただよふ、くつろぎの空間があります。

カフェ責任者の中出美紀さん  
(特定非営利法人手と手指導員)からのコメントです。

当カフェは、東区伏古でオープンし現在は、豊平区で就労支援事業として営業しています。

訪れていただくお客さんとしては、就労支援事業の利用者ご家族や知人の方がメインとなっていますが、その他にも近隣の地域住民の方々(北海学園大学、北海高等学校の教員、学生、生徒等を含む)が増えつつあります。こうした広がりから、当カフェの存在が、地域に浸透していることを実感しています。



車いすの方も安心して利用いただけるバリアフリーの空間であること。そして通常営業の他、「イベント」の効果も感じています。

色々なお客さんに利用していただき、お互いに繋がる場であってほしいです。そして何よりも「ほっと、一息、ついて、くつろいでいただく」とありがたいです。是非、お気軽にお越しください。

☆枝豆をつぶした「あん」と「生クリーム」をやわらかいもちで包んだ生菓子の製作にも取り組んでいます。』

イベント\*：概ね2つあります。

①「交流イベント」(概ね第2土曜日の18時～):お客さん相互のフリートークを中心とした交流懇親会を開催(参加資格等は、特になし)

②「ライブ」(概ね月1～2回、曜日や時間帯は不定期):歌や楽器(アコーディオン、ギター、フルート他、「鼻笛」等)の演奏。(プロの方の演出もあり)



### ★カフェDATA

- ・営業時間:火～土曜日 11時～22時 ※定休日:日曜日・月曜日
- ・住所:豊平区豊平7条8丁目1-15 1階 カフェ・コーナー 電話:011-818-0801
- ・「NPO法人 手と手」の就労支援事業「就労センターしずく」として運営
- ・現在の就労支援利用者は、約12名程度(19～65歳の方々)